

# 「婦人科がん患者の治療後における就労生活の現状」 へご協力をお願い

研究機関名	岡山大学病院			
責任研究者	岡山大学病院	産科婦人科	講師	中村圭一郎
分担研究者	岡山大学病院	産科婦人科	助教	楠本知行
	岡山大学病院	産科婦人科	講師	関典子
	岡山大学病院	産科婦人科	助教	小川千加子
	岡山大学病院	産科婦人科	医員	西田 傑
	岡山大学病院	産科婦人科	医員	原賀順子

## 1. 研究の意義と目的

### (1) 研究の背景

我が国のがん患者さんにおける5年生存率は約6割に達し、がんは「死に直結する病い」から「長くつきあう慢性の病い」へと変化してきましたが、いまだ社会におけるがん患者さんの立場は昔とあまり変わっていません。就労において、がん治療を行った患者さんの3人に1人が依願退職や解雇で仕事を失っていることが厚生労働省研究班から報告され、がん患者さんへの復職が整っているとは言い難い現状です。そこで、当科でがん治療を行った患者さんの就労状況を調査し、その結果によりがん治療後も働きやすい環境を提供できるようにしたいと考え、今回の調査を実施します。

### (2) 研究の目的

がん治療後の患者さんは復職後、再発の不安だけでなく、健康面、精神面、経済面、人間関係など多方面に不安を抱え、生活を送っています。しかしながら現在まで、治療後の復職におけるケアについては検討・報告がされておらず、個々で対応されているのが現状です。そこで当科で治療を行った患者さんに対して、治療後の就労状況についてのアンケートに答えていただき、現況を把握し、医療関係者だけでなく、学会や市民公開講座等の場を通じ、広く現状を認識してもらうことで、がん治療後も働きやすい社会にできるように取り組むことを目的にしています。

## 2. 研究の方法

**1) 研究対象：**この研究は岡山大学病院産科・婦人科で治療を受けた患者さん 960 人を対象として実施させていただきます。

**2) 研究期間：**この研究は平成 27 年 4 月倫理委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日の期間で実施する予定です。

### 3) 研究方法：

平成 27 年 3 月 31 日までの間に岡山大学病院の産科・婦人科を受診され、がん治療を受けた患者さんを対象に、治療前後における就労状況についての数分程度のアンケートを行わせていただきます。また当科で治療したカルテ情報も使わせていただきます。

### 4) 調査票等：

カルテから情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 5) 情報の保護：

本研究のすべての担当者は、「ヘルシンキ宣言」および「疫学研究に関する倫理指針（以下疫学研究倫理指針）」を遵守して実施します。

研究実施に係る情報、データを取扱う際は、被験者のプライバシー及び個人情報の保護に十分配慮致します。患者さんから得られたデータは、以後通し番号による連結可能匿名化し、管理します。研究の結果を論文や学会で公表する際は、被験者を特定できる情報を含めないようにします。また、研究の目的以外に研究で得られた被験者のデータ等を使用しません。診療情報およびアンケート回答用紙から得られたデータは、研究終了後 5 年間保存します。保存期間が終了した時点で、匿名化されたまま廃棄します。

### 6) 研究結果の開示

研究全体の成果につきましては、ご希望があればご本人にお知らせいたします。ご本人のご承諾があればご家族や代諾者の方にもお知らせ致します。担当医師にお申し出ください。

<問い合わせ・連絡先>

所属： 岡山大学病院

職名： 講師 氏名：中村圭一郎

学内内線番号：7320 PHS(所有している場合)： 2321

e-mail： k-nakamu@cc.okayama-u.ac.jp